

施策番号 1-2-1	施策名 地域内循環の推進と商工業の振興	基本目標	農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり			
		政策名	農業と連携した活力ある商工業と観光物産の振興			
	主管課	商工観光課	課長名	紺野 裕	内線	411
	施策関係課					

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
農業を軸とした産業連携による商工業の振興及び企業誘致と中心市街地活性化による地域内経済循環をすすめます。		商工業者・工業系企業	<ul style="list-style-type: none"> ・町内消費を拡大し、中心市街地活性化を図る ・産業連携による地域内経済循環を図る ・企業誘致・支援による工業団地内企業数の維持・拡大を図る 				雇用・税収の確保 町内消費の増加
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度(予想)	2022年度目標	
① 製造品出荷額	経済センサス	億円	848	848	860	900	
② 商品販売額	経済センサス	億円	795	795	700	700	
③ 工業用地利用率 (工業用地利用面積)	商工観光課調べ	% ㎡	95.0 1,904,706	94.6 1,897,066	94.7 1,898,478	95.0 1,924,541	
④ 工業団地企業数	商工観光課調べ	社	279	307	307	284	
成果指標 設定の考え方	① 段階的に900億円を目指す。② 700億円以上を目指す。 ③ 新工業団地造成に伴う分譲を想定 ④ 新工業団地造成等に伴う新規立地企業を想定						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算
施策事業費(千円)	563,271	734,292
人工数(業務量)	2.7822	1.5606

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2019年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	④工業団地企業数は、既存団地内に新規立地及び新規事業立ち上げにより増加したが、他の項目にあっては大きな環境変化がなく成果としては変わらなかった。
②2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	②にあっては中心市街地商店街の活性化により達成できると思われる。 ①、③、④現在の工業団地面積の約95%に企業が立地しており、今後の企業数や土地利用の増加については、新たな団地造成により目標が達成できる。 全体的には新型コロナウイルス感染症の長期化によつては、新しい経営スタイルの構築が必要と思われる。
(2) 施策の成果評価に対する2019年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	芽室駅前プラザ維持管理事業 企業誘致促進対策事業 町内消費喚起事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ・芽室駅前プラザ維持管理事業において、商業、集客の核施設として適正な維持管理(外壁改修)を行っている。 ・企業誘致促進対策事業において、立地企業に対し優遇措置を図り企業の存続化を図っている。 ・町内消費喚起事業において、リフォーム等奨励事業にて住宅の解体工事を対象とし、また、1住宅について複数回のリフォームを可能としたことにより、関連企業の請負件数及び工事費の増加になった。 ・雇用・労働関係相談対応事業において、労働力確保の観点から芽室町ハローワークを開設し、また、今年度、雇用促進住宅の供給に着手した。 ・企業支援対策事業を新たに設け、企業の就職合同説明会の参加や採用担当者向けのセミナーを開催し、企業の労働力確保を支援した。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した
- C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した
- D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない
- E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の長期化によっては、新たな経営スタイルの構築が必要とされる。 ・中心商業地域の空き店舗の増加により、商店街形成に影響を与え消費流出が加速する。 ・東工業団地の分譲地不足のため、町内立地希望企業が町外工業団地を選択する可能性がある。 ・中小企業の労働力不足が深刻化し、安定した経営が厳しくなる。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗対策など中心市街地の活性化 ・企業の労働力不足確保対策 ・プレミアム商品券の検証と効果 ・新たな工業団地の造成

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症により影響を受けている企業に対する支援。 ・ネット通販の普及及び中心市街地に空き店舗、空地が点在し、消費流出に拍車がかかることから、地域内経済循環の推進と空地、空き店舗を活用した商業集積の取り組み中心市街地の活性化を図る。 ・新工業団地の造成を目指した取り組みを実施し、立地企業数及び製造品出荷額の増加を図る。 ・町内企業の労働力不足解消のため、芽室町ハローワークの周知と雇用促進住宅を供給し、企業を支援する。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	成果指標は策定時と比べ変わらないが、芽室町ハローワークの開設や雇用促進住宅の整備着手など、新たな取組を進めており、総合的に判断して策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	後期実施計画に向けて、毎年度判断できる指標の設定について検討が必要である。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	芽室町ハローワークの開設や雇用促進住宅の設置等に新たに取組んでおり、策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・芽室町の商品券を、町内の企業で働いている方も購入できるようにしてはどうか。 ・成果指標は経済センサスなどではなく、各商店街へのアンケートや商品販売額など町で実施できるものにした方が良いのではないか。 ・空き店舗についてできるだけ早急に取り掛かり、思い切った政策を実施してもらいたい。 	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					